

エス・ディー・ジーズ SDGs と保育

SDGs 通信第2号 9月発行 子育て支援センター

前回のおたよりで『SDGsに関して親子で取り組んでいること・心掛けていること』
また『おたよりの感想』をお寄せ頂きました。
第2号は「自然遊び」をテーマにSDGsに関連する情報をお伝えします。



- ◎節電、節水は常に心がけ使用していない電源は切る
- ◎マイバックを持ち歩く
- ◎マイボトル（子どもと一緒に）を持ってお出掛け

食べられる分だけ取るのはもちろんですが、ムダにしたくないので買いすぎない、作りすぎないことを心掛けています。作りすぎたら冷凍するなど工夫をしています。

畑でとれたバジルを料理で使ったり、一緒に料理を作ってみたりして、自分で調理したものは残さず食べてもらうようにしています。お野菜が残っている時は「お野菜さんが泣いているよ～」と言葉の魔法をささやきます。

子たちが野菜嫌いで、どうしても残してしまうことが多いので、まずは、野菜と一緒に育て楽しんで収穫したら食べてくれるかなと思い、トマト、キュウリなど今は一緒に育てて、食卓に出しています。まだ少し残してしまうことがありますが、食べ物への感謝を忘れないよう教えていければと思います。まずは食品ロスから！！

テレビでよく耳にしていましたが、内容を理解していなかったのが、このお便りで知ることが出来ました。ありがとうございます。まずは食事を作る量を考えることと、食事をしながら子ども達に食べられない子もいることを伝えたいと思います。

支援センターでは、来園した親子と一緒にトマト、ナス、はつかダイコンを栽培し、収穫しました。お水をあげたり、お家に持って帰って料理したりして自然の恵みを体で感じ取っています。



キリトリ

♡ご家族の皆様へ♡

親子で自然体験をした場所、内容などがありません是非、お寄せください。次回号に掲載し、皆さんにもお知らせしていきたいと思っています。
(例：不動尊に虫取りや川遊びにいきました。…など)



『自然体験とSDGs』 親子で楽しもう、まるもり散歩 ～まるもりの自然マップ～

不動尊公園



キャンプやバーベキュー、川遊び、昆虫採取、どんぐり拾いなど…季節ごとの自然体験がたくさん出来る場所です。また、川遊びでは、水が流れる音や水の色、水の冷たさを、耳、目、肌で感じる事が出来ます。自然の中で暮らしている昆虫に触れることで、自然の大切さを感じられる場所となっています。

見晴らし花壇



写真は5月のチューリップです

見晴らし花壇から阿武隈川側を見下ろす丸森町は絶景です。そして、地域の方々も季節ごとに植え替える花も綺麗！！季節によって景色が変化しますので、季節の移り変わりや子どもと一緒に小さな変化をお子さんと一緒に楽しみ肌で感じて下さい♪

丸森駅



阿武急ラプラス&ラッキートレインが限定運行しています♪
町内在中で、二人以上なら運賃が半額になりますのでお得です。(駅での申請が必要)この機会に電車に乗って少し遠出してみたり普段あまりできない体験で思い出作りをしてみたいかですか？ラプラス&ラッキートレインはこれから運行するそうなので、運行状況はホームページでご確認ください。
(↓こちらは9月25日までの時間帯です)

下り(槻木行き)	丸森着	8:56	10:49
上り(柳川行き)	丸森着	10:03	12:15

斎理屋敷



斎理屋敷の表門をくぐると様々な「蔵」があり、「童の蔵」では昔懐かしい模型飛行機や竹とんぼなどの展示や手作りおもちゃなどがあり、子どもだけでなく大人も楽しめる空間となっています。原っぱで自然観察や鯉に餌やりも体験出来ます。

「歩くことで育つ子どもの体と心」

車や電車など移動手段の便利さと引き換えに、子どもの歩く時間は減ってきています。そのため運動能力に大きな影響を与える「土踏まず」が作られないまま成長する子どもが増えています。歩くことの効果やメリットを知り、近所へお散歩するなど意識して健康な体作りをしましょう。

歩くことの効果

- 骨や筋肉を強くする
- 脳の血流をよくする
- ストレス解消
- 安眠
- 肥満防止



土踏まずがしっかりある足は、健康な足!

～今すぐできる自然体験～
近所の草花に名前を付けて毎日観察に行くのも楽しそう♪



「自然」は学びの宝庫

- 目に見える自然…植物、昆虫、砂、水、陽だまり、影 など
- 目に見えない自然…風、香り、湿度、気温 など

「遊び」は何かを与えないとできないものではありません。自分自身の「影もあそび」になり、遊具がなくてもすぐに遊びを展開していけるのが子どもです。「自然」という大きな環境は、子ども自身が本来持っている好奇心、探求心、試行力、挑戦意欲が育まれていきます。また、生物の生態や季節の移り変わりを実際に目にすることで、持続可能な世界を創る大切さにも気づくことが出来ます。

このような体験を積み重ねていく事は下記の目標達成につながります。

